



---

都市と地域の人をつなぐ

# 里都(さと)プロジェクト

第11回・里都づくりフォーラム開催レポート

【開催日:2012年11月21日(木)】

---

都市と地域の人をつなぐ  
里都プロジェクト

# 「里都(さと)プロジェクト」について

里都(さと)プロジェクトとは、  
「都市」と「地域」との新しいつながり方・関わり方を、実践から学び、考えていくプロジェクトです。

「持続可能な幸せを感じる社会づくり」、重要なキーワードだと思います。  
この新しい社会づくりのためには、「都市」と「地域」との新しい関係性を模索し、先行事例に学び、育んでいくことが重要ではないかと考えています。

そこで里都(さと)プロジェクトでは、  
「様々な地域で、都市と地域をつなぐ活動を行っている方々」と、  
「都市に住み、地域との縁をつくりたいと考える方々」との出会いの場をつくり、  
お互いが学びあい、双方にとって新しい関係性を培うきっかけづくりに取り組んでいきたいと考えています。

都市生活者



都市と地域をつなぐ活動を行っている方々



地域生活者



## 【里都プロジェクト】

- ・コアメンバー: 大木浩士、有福英幸、濱谷玲子
- ・主な活動内容: ネットワークづくりフォーラムの企画運営、WEBサイト等による情報発信、地域体験ツアーの企画運営、など
- ・WEBサイト: <http://www.satopro.jp/>
- ・お問い合わせメールアドレス: [info@satopro.jp](mailto:info@satopro.jp)

# 第11回・里都づくりフォーラム 開催概要

\*\*\*\*\*

■テーマ： 地域通貨「蚕都(さんと)くらぶ・ま～ゆ」

■ナビゲーター： 安井啓子(やすい けいこ)さん

■開催日時： 2012年11月21日(木) 19:00～21:40 (開場 18:40)

■開催場所： 中央区立産業会館 4階 第一集会室

■参加者： 18名

\*\*\*\*\*



=====

◎安井啓子(やすい けいこ)さん

蚕都(さんと)くらぶ・ま～ゆ 代表世話人

NPO法人食と農のまちづくりネットワーク理事

NPO法人上田市民エネルギー理事

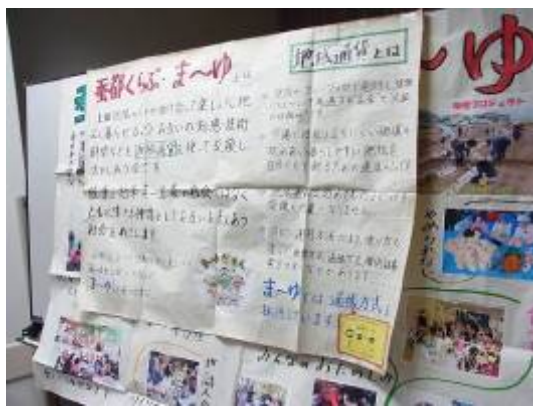
うえだ環境市民会議 議長

上田地域広域連合広域計画策定委員会委員長

=====

# オープニング

参加者は18名。冒頭、「里都プロジェクト」発起人の大木から、「プロジェクト設立の背景」について説明をさせていただき、自己紹介の時間を設けました。



# ゲスト:安井啓子さんからのお話

第11回フォーラムのゲスト(里都ナビゲーター)、地域通貨「蚕都(さんと)くらぶ・ま~ゆ」代表世話人の安井啓子(やすい けいこ)さんより、「蚕都くらぶ・ま~ゆ」の発足経緯や活動内容、地域通貨の運用方法などについてお話をいただきました。



## ま~ゆ10周年 記念総会



# ゲスト:安井啓子さんからのお話



## ★「蚕都くらぶ・ま〜ゆ」の基本理念

『私たちは、地域の豊かな自然や人びとが持っている知恵、技能、人柄、時間こそが地域の本当の財産(宝)であると考えます。その宝を真に価値あるものとして活かしあい、お互いに交換・交流しあうことによって人びとの絆を強め、共に生きる仲間として楽しく心地よく暮らせる自立した地域と温かい人間関係づくりをめざします。』

## ★参加者構成

- \* 20代から80代までの男女約180人(男女比 45%:55%) (50代、60代が6割)
- \* 会社員、自営業、農業、公務員、教員、学生、退職者、NPO関係など多種多様
- \* 誰でもいつからでも入会可。(年会費1200円)

## ★会員交流・情報の共有

- ①「ま〜ゆ市」毎月10日開催(モノ・コト交換市、各種インフォメーションなど)
- ②会報誌発行(偶数月現在69号まで)、はがき通信(奇数月)
- ③インターネットの活用。メールアドレス登録者にML やHPで情報の受発信
- ④季節ごとのイベント(餅つき大会、繭玉づくり、お花見、収穫祭など)

## ★「ま〜ゆ交換」お助け事例

農産物の提供、不用品の交換、花、野菜の種・苗の提供、建築・リフォームの設計相談、パソコン指導、自転車の修理、飲み会送迎、山菜取りガイド、名刺作成、農作業の手伝い、引越しの手伝いなど。

## ★地域通貨「ま〜ゆ」の良さと「ま〜ゆ通帳」方式(会員の声)

- ・通帳方式はマイナスを気にしないで交換が出来る。記録に残る。(交換日記)
- ・気軽に気兼ねなく交換ができ利害関係が無い。／税金がかからない。
- ・ま〜ゆ併用で仕事を頼めることで、地域活性化の一步になる。
- ・自分の特技、有り余る時間や労力が活かせて、同時に喜んでもらえる。
- ・価値(値段)を自分で自由に決められる。／活かせるものが交換で活かしてもらえる。
- ・家に一杯あるものを捨てないですむ。／野菜、お米など新鮮な農産物が格安で交換できる。

## ★運営で大切にしていること

- ・個人の自由、自主性、主体性の尊重。自己決定と自己責任
- ・良いと思ったことは即実行 ( 未来への希望や夢を語る場を多様につくる)
- ・形にとらわれない、お金をかけない柔軟性を持った組織運営
- ・“時間”は一人ひとりにとって異なるもの。価値の基準は個々に違っていてもいい
- ・新しい価値・文化の創造(これまでの常識を疑ってみる)
- ・結果を急がない! あせらない! 自然のリズムを尊重し、じっくり、ゆっくり育つ土壌をつくる。
- ・他団体との連携・ネットワーク

## ★「蚕都くらぶ・ま〜ゆ」の魅力

- ・“お金”や“肩書き”にとらわれない信頼に基づいた温かい人間関係
- ・自発性が尊重され自由な雰囲気にあふれている／新しい出会いの場の提供(異世代間の交流)
- ・“自分発見”。人の役に立つことでこれまで気づかなかった自分の価値に気づく
- ・多様な価値の創造(多彩なお助けメニュー)／地域の再発見・再創造の可能性
- ・“夢”を語り合える仲間の輪と和





# つながりをつくる体験ワークショップ

『ま～ゆ』の「参加申込書」や「ま～ゆ市」を参考に、人のつながりをつくる地域通貨体験ワークショップを行いました。

- ①参加者各自がワークシートに、「自分が探しているもの、困っていること」と「自分が提供できるモノ・コト」を記載。
- ②全員が発表。
- ③各自がつながりたい人を見つけ、話し合い。(2ラウンド)

第11回・里都づくりフォーラム 「つながりをつくる体験ワークショップ」ワークシート	
お名前:	
探しているモノ、困っているコトなど (私、こんなこととして欲しい！)	自分が提供できるモノ、コトなど (私、こんなことができます。してあげたい！)
①	①
②	②





# つながりをつくる体験ワークショップ

話し合いを行い、「お助け関係」が成立するようであれば、値づけ交渉も行いました。

自分が役に立てる喜び、自分ができることに対価がつく驚き、そんなものを感じることができた貴重な体験ワークショップになりました。

話し合いによってやりとりが成立するようでしたら、下記にその内容を記載してみましょう。

※地域通貨の単位として、今回は「里都(さと)」を使ってみたいと思います。

(1里都=1円を目安に、話し合いで交換条件を決めます)

お助け内容	提供される方が記載します		相手の名前
	受け取り(里都)	支払い(里都)	
<サンプル> フェイスブックの使い方アドバイス	+ 1000	-	山田さん
	+	-	
	+	-	
	+	-	



# 振り返り

最後に全体で大きな円になり、今回のフォーラムの感想のシェアリングを行いました。

安井さんのお話を聞き、さらに自ら体験することを通して、「地域通貨」の意義や魅力を実感することができました。



# 全員で記念撮影

